

# 国際交流のひろば



## 平成26年度留学生オリエンテーション

4月10日(木)12時から人105において、平成26年度留学生オリエンテーションを実施し、留学生、チューター、教職員など約50名が出席しました。

最初に押木留学生支援専門部会長から挨拶と「4つの留学生支援方針」の説明があり、「留学生履修プログラム」「就学・生活上の諸手続」など国際交流チーム主査から、「宿舎入居の注意」を学生支援チーム主査から説明がありました。



## ベトナム・ハイフォン市からの訪問団



4月10日(木)新潟に来県していたベトナム・ハイフォン市の訪問団18名が来学し、講302において、交流が図られました。佐藤学長の歓迎の挨拶の後、ハイフォン市副市長とベトナム海洋大学副学長からそれぞれの説明があり、林副学長及び黎国際交流推進センター長から本学の概要や国際交流について説明し、意見交換をしました。

訪問団は新潟県とハイフォン市との交流及び産業等の視察が目的で、県内の大学や高校、農業・水産関係施設や企業を視察しました。

## 地域貢献事業「外国人児童生徒への修学支援プロジェクト」報告・説明

4月23日(水)14時40分から人113において、地域貢献事業「上越地域在住の外国人児童生徒に対する修学支援プロジェクト」の平成25年度実施報告と平成26年度概要説明を行いました。

最初に、こどもランプ概要説明を国際交流アシスタントから、次に平成25年度活動報告と平成26年度の活動について、また実際に支援を進めた方法などについて、学生4名から説明がありました。



## お知らせ

国際交流推進室の名称が変わります。  
平成26年4月から「国際交流推進センター」になりました。  
場所は研究連携室内です。どうぞご利用ください。

### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3666 (研究連携室 国際交流チーム)



# 国際交流のひろば

第149号 2014年5月

## 語学教室が始まりました

5月14日(水)12時から人106教室において、ポルトガル語教室が始まりました。

ブラジル出身の留学生が講師となり、5名の受講者が参加し、学校で児童生徒を迎えた時にも使える簡単な表現や発音などを学んでいます。

この語学教室は、全8回行う予定です。



## 本学外国人留学生と地域住民との米に関わる交流



5月31日(土)妙高市杉野沢において、留学生と日本人学生が田植えを体験し、妙高市無形民俗文化財の民俗芸能「杉野沢春駒」を学びました。

この活動は、公益財団法人中島記念国際交流財団の平成26年度留学生地域交流事業に採択され、本学留学生が上越地区の特産である米作りを通して地域文化を体験し、生活・歴史を知るために米を作ることから地域住民との交流を持つことが目的で、1年間を通して実施します。次回、6月28日(土)は笹寿司作りの体験と杉野沢地区の散策を予定しています。

## よろしくお祈いします!

4月に6名の留学生が入学しました。

これにより、現在、本学で学ぶ留学生数は、博士課程の留学生を含めると29名となり、オーストラリア、コスタリカ、中国、台湾、トルコ、フィリピン、ブラジル、フランス、メキシコからの留学生が在籍しています。

マチャドさんに自己紹介をお願いしました。



### 教員研修留学生 マチャド ダニエル ドス サントス (ブラジル)

はじめまして。昨年9月末にブラジルから来て、今年3月まで新潟大学で勉強して上越に参りました。ブラジルでは教師をしていますので、教員研修留学生として、日本の教育を勉強しています。専門は日本語です。2011年から、ブラジルで日本語を勉強し始めました。そのため、日本に来ることはとても大切なことだと思います。日本に来てから初めて見るものがたくさんありました。一番好きなのは雪です。景色は真っ白になったので、本当に感動しました。日本の生活は楽しいですが、忙しいと思います。ですが、時間があるときは、友達といっしょに映画を見たり、ゲームをしたり、公園を散歩したりしています。1年間、どうぞよろしくお祈いします。

### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3666 (研究連携室 国際交流チーム)





## 海外研修プログラム報告会及び説明会

6月18日(水)13時から人104において、平成25年度に実施した「海外教育(特別)研究A」(オーストラリア・ウェストミンスタースクールでの研修報告)と今年度、実施する「海外教育(特別)(実践)研究B」(アメリカ・アイオワ州)の説明会を行いました。

報告会では、平成26年2月14日～25日の期間、オーストラリアにて英語で行った授業実践やシドニーでの文化研修について、参加学生及び引率教員から報告がありました。



## 平成26年度第1回留学生が語る／留学生と語る会



6月25日(水)17時30分から人113において開催しました。

語り手は、ジェシカさん、ダニエルさんです。「ブラジルパノラマ～知らない世界へ」というテーマで、出身国の歴史、文化、教育、仕事などについて語りました。

市民の方々にもお越しいただき、教職員、学生などを含め、約45名の参加がありました。

参加者からは「ブラジルについて普段知らないことを聞くことができた」「日本と比較した視点での話だったので分かりやすかった」という感想がありました。

## 本学外国人留学生と地域住民との米に関わる交流

6月28日(土)妙高市杉野沢地区において、5月31日の田植え及び伝統芸能の春駒体験に続き、2回目の交流を実施しました。

今回は伝統料理の笹寿司作り体験と苗名滝、いもり池の散策です。笹寿司は笹を取ることから始め、ご飯や様々な具材をのせて作りました。苗名滝では地元の方から案内いただき、いもり池では学芸員から話を聞いて、妙高の自然も学ぶことができました。

田んぼに行き、苗の成長を見て、10月の稲刈りを楽しみにしていました。



発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3666 (研究連携室 国際交流チーム)



## 外国人留学生奨学金説明会

7月23日(水) 12時から人106教室において、私費外国人留学生を対象に平成26年度各種奨学金に関する説明会を行いました。

外国人留学生の修学を支援することを目的とした「ロータリー米山記念奨学金」「平和中島財団奨学金」「国費外国人留学生(研究留学生)国内採用」等の募集や詳細について山本留学生支援専門部会員から、応募の仕方等について国際交流チーム主査から説明がありました。

参加した留学生は熱心に耳を傾けていました。



## 平成26年度上越教育大学地域貢献授業「夏休みの宿題教室」



7月23日(水)、24(木) 17時30分~19時30分、人文棟213、214、2講103教室において実施しました。

本学地域貢献事業「外国人児童生徒への修学支援プロジェクト」によるものです。

外国につながる上越市、妙高市在住の児童生徒が、持参した夏休みの宿題の中で一人では取り組むことが難しい部分などを中心に行いました。

20名の外国人留学生及び日本人学生と12名の小中学生が参加しました。

## 国際交流七夕茶会

7月7日(月) 19時から大学会館第4会議室において、本学茶道クラブの国際交流七夕茶会に留学生が招待されました。

茶道クラブの学生からお茶の飲み方を習い、お点前をいただいた後、短冊に願い事を書いて、笹に飾り付けをする体験もしました。

参加した郭双竜さん(中国)は「茶道は私にとって初めての日本文化の体験で、初めて抹茶を飲みました。普段飲むお茶とは違って本格的と感じました。お茶と異文化の味を楽しみました。」と感想を話しました。





## 留学生の日本文化・歴史体験及び地域交流に関する研修

7月26日（土）、27日（日）長野県松本市に研修に行きました。外国人留学生に日本文化・歴史体験を通し、地域の交流と日本人学生との交流の機会を提供することが目的です。松本城、松本市博物館、旧開智学校、旧制高等学校記念館、大町ダム、山岳博物館を見学しました。

瀋甜甜さん（中国）に感想文を寄せてもらいました。



### 大学院1年 言語系コース（英語） 瀋甜甜

1泊2日の研修旅行では日本の文化を学んだり、美しい自然に触れたり、大変よい経験をしました。

日本の国宝である松本城は、周辺が豊かな自然に囲まれて輝いていました。博物館や記念館なども行き、その中で一番印象深いのは黒部ダムでした。黒部ダムは世界的に見ても大規模なダムです。ダムの展望台からは立山連峰をはじめ、北アルプスの大パノラマを楽しみました。また、大迫力の放水を見て、感動しました。松本市では日本人の知恵や自然の美しさに驚きました。一緒に行った日本人学生との交流もできました。このすばらしい思い出を大切に、これからの留学生活や勉強に励みます。次回の研修旅行も楽しみにしています。ありがとうございました。



## 上越教育大学国際交流推進後援会奨学金授与式

平成26年度上越教育大学国際交流推進後援会外国人留学生奨学生として、留学生8人が決定され、7月31日（木）14時から大会議室において、奨学金授与式が行われました。会長である佐藤学長から奨学生に奨学生決定通知書が手渡されました。

本後援会は、上越教育大学における国際交流の推進を支援し、教育及び学術研究の進展に寄与することを目的として設立され、趣旨に賛同した教職員による会員や寄附者からの拠出金により支えられています。

海外派遣留学生や外国人留学生への支援、協定校等との交流推進、外国人留学生との交流事業などを実施しており、本奨学事業は、外国人留学生への支援として学業・人物ともに優れている私費留学生に対し、援助を行っているものです。



## 外国人研究者の招へい

6月15日（日）～7月20日（日）まで、外国人研究者としてチャーリー・モーガン氏（アメリカ合衆国、オハイオ大学社会学部助教授）を招へいしました。

滞在中は、国際結婚を視点とした日本の移民の現状と課題に関する質的研究についての研究に従事されました。モーガン氏は「外国人研究者として、上越教育大学に行けたことを心から感謝しております。おかげさまで私の研究がうまくいきました。また上越教育大学に行くのを楽しみにしています。」と感想を話しました。

### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3666（研究連携室 国際交流チーム）



# 国際交流のひろば

## 平成26年度短期留学生成果発表会

8月25日(月)13時から人114教室において、昨年10月から特別聴講学生として在籍していた7名の留学生在が1年間の学習成果を発表しました。

発表会では、留学生活の感想やそれぞれの研究テーマに基づいた発表と質疑応答を行いました。

発表を終えて、ジャスティンさん(オーストラリア)は「1年間のまとめを発表して「終わりですね」と感じました。一生忘れられない友達と思い出をいっぱい作りました。上教大のみなさんに感謝しております。是非また日本でもオーストラリアでもお会いしましょう。」と感想を話しました。



## 第27回JAPAN TENT～世界留学生交流・いしかわ2014～



ホストファミリーと

毎年、石川県で行われており、全国から約300人の留学生在が参加し、ホームステイ、里山里海体験、伝統文化などの体験が行われます。今年度は8月20日(水)～26日(火)まで行われ、本学からはチャベス・カストロ・ファン・パブロさん(コスタリカ)が参加しました。

チャベスさんは「面白くて、すごくて、楽しい経験でした。能登町、かほく市、金沢市などで温かい家族の中でホームステイをしたり、世界中の留學生と交流したり、沢山の日本の料理を食べ、観光をして、石川県の文化について学びました。留學生の皆さんに、来年ぜひ参加してほしいです。」と感想を話しました。

## トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラムに本学学生が採用されました

「トビタテ!留学JAPAN 日本代表プログラム」の新興国コースにおいて、大学院1年芸術系コース(美術)の竹下万生さんが第1期派遣留學生に採用されました。

このプログラムは、自然科学系分野、複合・融合分野における留学や新興国への留学、諸外国のトップレベルの大学等に留学する学生を支援するものです。また、学生の海外留学を促進し、各領域でリーダーシップを発揮する多様な人材を支援し、海外留学の機運を高めることを目的としています。

竹下さんは来年の2月から2ヶ月間、ネパールに留学し、首都カトマンズとポカラをフィールドに語学学習、現地調査、ボランティア活動及び教育実践活動を行う予定です。



伊藤指導教員 下村文部科学大臣 竹下さん

### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3666 (研究連携室 国際交流チーム)



# 国際交流のひろば



## 短期留学生修了証書授与式

9月4日(木) 13時から大会議室にて執り行い、昨年10月から学部特別聴講学生として留学した中国協定校からの4名と日本語・日本文化研修留学生3名に、学長から修了証書が授与されました。

1年間の留学を無事に終え、ほっとした様子で、それぞれ9月に帰国されました。



### 日本語・日本文化研修留学生 ロドリゲス デメロ・ジェシカ (ブラジル)

日本に来ることは昔から私の夢でした。去年、留学が決まったことを知ったとき、言葉に表せないほど、うれしかったです。しかし、いざ上越に来た時、不安な気持ちはたくさんありました。その時、大学の皆さんが優しく、いつも助かりました。

この一年間、本を読んだり発表したりして、日本語や日本の文化について色々なことを勉強しました。そして、この留学で一番大事な勉強になったことは、自分自身で生きるということです。家族や友達と離れて、地球の裏側に来ることは大変寂しかったですが、人生の勉強になりました。例えば、時間を守ることや勉強に集中することなどは日本人から学んだことです。

私のこの留学生活では、とてもいい思い出を作りました。この一年間で経験した楽しいことも辛いことも、全部ブラジルに持って帰りたいです。そして、将来もっと強くなり、新しい私になって、また日本に来たいと思っています。

## 修了生からの手紙

平成26年3月に本学大学院学校臨床研究コースを修了し、現在、中国内蒙古に帰国された李恒さんからお手紙が届きましたので、ご紹介します。

こんにちは。お久しぶりです。皆様、お元気ですか。林先生、ゼミの皆さん、留学生と地域の皆様、お元気ですか。私の上越の留学生活は、皆様のおかげで無事に終わりました。皆様から研究も生活も、いつもお世話になり心より感謝しております。

私は約4年間日本で生活し、日本の文化、習慣、様々な専門知識などの能力を身につけました。特に生活の態度などを意識できたことは、私の人生の中で一番重要なものだと思います。帰国して、もう4ヶ月経ちました。食品会社で管理職をしながら、様々な挑戦を楽しんでやっています。将来は道德教育を教えるための学校を作りたいと考えています。

皆様、体を大切に、毎日元気でいてください。私の故郷は、大草原です。ご都合がいい時、ぜひ遊びに来てください。私はここで皆様をお待ちしております。



### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3666 (研究連携室 国際交流チーム)



# 国際交流のひろば

上越教育大学

## ウェストミンスター・スクールの来訪

10月1日(水)から4日(土)まで、本学交流協定校であるオーストラリアのウェストミンスター・スクールから初等部の児童生徒13人と引率者2人の計15人の訪問団が来訪しました。同スクールとは、2年に1度の相互交流を行っています。今回の主な活動は次のとおりです。

- 10/1(水) 上越に到着
- 10/2(木) 歓迎式  
日本文化の授業  
サークル見学(アカペラ、ストリートダンス)  
茶道体験  
平和記念公園見学
- 10/3(金) 附属小学校での交流活動  
社会見学・ショッピング  
修了式
- 10/4(土) 高田公園散策  
上越を出発

附属小学校交流活動



社会見学・ショッピング



## 留学生オリエンテーション

10月3日(金) 12時から人104教室において、平成26年10月入学の留学生を対象にした留学生オリエンテーションを実施しました。

最初に、押木留学生支援専門部会長から挨拶と「修学・生活・日本語・連携の4つの留学生支援方針について」、次に国際交流チーム留学生担当主査から「外国人留学生履修プログラム」「留学生支援に関する役割について」「チューターについて」「宿舎入居の注意」「修学・生活上の諸手続について」「学生教育研究災害傷害・賠償保険」等についての説明がありました。

出席した留学生とチューターは熱心に耳を傾けていました。

## 留学説明会

10月6日(月) 12時から人113教室において、海外への留学を希望する学生と留学に興味がある学生を対象に、留学説明会を開催しました。

本学と協定を締結している海外の大学(中国・台湾・韓国・アメリカ・トルコ・オーストラリア)についての紹介、海外留学支援制度(協定派遣)及びトビタテ!留学JAPANの概要などについて説明がありました。





## 外国人留学生と地域住民との米に関わる交流

10月18日(土)妙高市杉野沢地区において、3回目の交流を実施しました。

今回は5月に植えた稲の稲刈りと天日干しを青空の下で体験しました。稲刈りの後は、かまどでご飯を炊いて、おにぎりときのこ汁をいただき、午後からは北国街道・関川の関所「道の歴史館」を見学しました。

次回は11月に米粉を使った料理体験をする予定です。

初めて参加した邱子庭さん(台湾)は「この体験は生まれて初めてだったので、おもしろかった」と感想を話しました。



## 平成26年度留学生等の交通安全教室



10月22日(水)16時から国際学生宿舎研修室において、平成26年度留学生等の交通安全教室を実施し、留学生24名が参加しました。

押木留学生支援専門部会長の挨拶の後、上越警察署交通課及び警備課職員による交通安全指導があり、主に自転車のルールを中心とした通行の仕方や実際の事故の様子、また犯罪についてのお話がありました。

最後に留学生の阿栄さん(中国)が「留学生が来ている外国は違うルールですが、日本のルールを守り、事故にあわないよう、相手に迷惑をかけないように気を付けていきます」と感想とお礼を述べました。

## よろしくお祈いします!

10月に入学した留学生は、中国9名、台湾2名、キューバ1名、スロベニア1名の13名です。これにより、本学で学ぶ留学生の数は、博士課程の留学生を含めると33名となりました。

マウリチ・ヤコブさんに自己紹介をお願いしました。



### 日本語・日本文化研修留学生 マウリチ・ヤコブ (スロベニア)

はじめまして。私はスロベニアのノヴァゴリツァから来ました。リュブリャナ大学文学部アジア・アフリカ研究学科の3年生です。今年10月から来年9月まで、日本語・日本文化研修留学生として、上越教育大学で勉強します。日本語がもっと上手になるためにここに来ました。

みなさん、スロベニアがどこにあるか知っていますか?私の町はスロベニアの西、イタリアのすぐ近くにある中都市ですから、上越と私の町の雰囲気の違いはとても良いと思います。上越は本当にきれいな町です。学生も他の人も皆優しいです。上越にはたくさん名所もあって、スキーもできますから、その場所へ行って活動することが楽しみです。もう一つの良いことは日本海の近さです。夏も楽しいだろうと思います。私は海が大好きだからです。また、上越にはいろいろなお寺と神社がありますから宗教の研究も楽しみです。1年間どうぞよろしくお祈いします。

### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3666 (研究連携室 国際交流チーム)



## J. TEST 実用日本語検定受験

11月16日(日) 本学において、外国人留学生在がJ. TEST実用日本語検定を受験しました。留学生の日本語能力を公正かつ客観的に評価し、今後の留学生に対する日本語支援に役立てることを目的に実施しています。

留学生が受験したものは中級～上級者向けで、点数により能力を特A～D級に判定します。11月にJ. TEST試験対策特別講義を実施し、受験後は結果と講評及び事後指導を12月中に行う予定です。

## 学長と平成26年度入学留学生との懇談会

11月18日(火) 12時から大会議室において実施しました。学長、理事、副学長、留学生指導教員、留学生支援専門部会員と留学生18名が出席しました。

留学生の自己紹介、学長から歓迎と励ましの言葉があり、昼食をとりながら、和やかに懇談が行われました。

留学生は「この留学で初めて日本に来ました。日本と自分の国は習慣が違うのでまだ慣れないですが、皆さん親切なので助かります」と感想を話していました。



## 「海外教育(特別)(実践)研究C」研究報告会



9月23日(火)～30日(火)の8日間、本学と協定校である韓国教員大学校及びソウル市新龍山小学校にて海外研修を実施し、11月25日(火)13時から人105教室において参加学生及び引率教員による報告会を行いました。

参加学生からは、韓国へ行く前に取り組んできたことや韓国での授業実践において良かった点、難しかった点、またこの研修に参加して学んだことなどが報告され、教育者を目指す学生にぜひ参加してほしいと呼び掛けていました。

## 外国人留學生との意見交換会

11月26日(水) 16時30分から大会議室において実施し、本学教職員、外国人留學生、チューターなど36名が出席しました。留学生支援専門部会の山本部会員が司会進行となり、黎国際交流推進センター長の挨拶、留學生の自己紹介に続き、小グループごとに意見交換を行いました。

留學生からは修学面、生活面、人間関係などについて、日ごろの悩みや考えていることの見解が出され、アドバイスや解決方法などが話し合われました。この会で得た意見は留學生支援につなげていきます。



発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3666 (研究連携室 国際交流チーム)



# 国際交流のひろば



## 世界を語ろう!

11月19日から留学生交流プラザにおいて、毎週水曜日のランチタイムに「世界を語ろう」を行い、学生、教職員が集まり、世界の文化、生活、言葉などについて一緒におしゃべりをしながら交流しました。

11月は「コスタリカの文化」「私達の故郷 - 内蒙古と内蒙古民族大学の紹介」12月は「スロベニアってどこ?」「フィリピン - the Pearl of the Orient Sea」「メキシコを感じよう!」日本人学生による「2015年北海道の旅 - 豊かな自然を楽しもう!」の話題で行いました。

参加した里見岳夫さん(国語・M2)は「その国の歴史に根ざした文化について知ることができました。そして、その土地に行ってみいたいという気持ちになりました。留学を考えている学生や外国に興味を抱いている人にとっては多様な文化に触れる良い機会だと思います。」と感想を話しました。



## 留学生と地域住民との米に関わる交流の発表会



12月17日(水)14時40分から人113教室において、活動のまとめと体験発表会を行いました。

今年度、4回に渡り、妙高市杉野沢地区において、本学留学生が上越地区特産である米作りを通して地域文化を体験し、生活・歴史を知るために米を作ることから地域住民との交流を持つことを目的に行いました。

留学生の苗慧穎さん(中国)は「最初の田植えから稲刈り、自分で作ったお米でおにぎりやピザ作りまで多くの体験を通して自然や食べ物の大切さなど、人間にとって大切なことを学びました。」と感想を話しました。

## 平成26年度上越教育大学地域貢献事業「冬休み宿題教室」

12月22日(月)16時30分~19時30分、人213、214教室において、冬休みの宿題教室を実施しました。これは平成26年度上越教育大学地域貢献事業「外国人児童生徒への修学支援プロジェクト」によるもので、上越市及び上越近隣地域在住の外国にルーツをもつ児童生徒を対象に支援するものです。

14名の外国人留学生及び日本人学生が支援者として参加し、12名の小中学生が持参した冬休みの宿題の中で、一人では取り組むことが難しい部分を中心に取り組みました。



### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3666 (研究連携室 国際交流チーム)



# 国際交流のひろば



## 平成26年度第2回留学生在語る／留学生と語る会

1月20日(火) 13時から人113教室において、「平成26年度第2回留学生在語る／留学生と語る会」を行いました。

今回の発表は、教員研修留学生のマチャド・ダニエル・ドス・サントスさん(ブラジル)による「ブラジルパノラマ」とチャベス・カストロ・ファン・パブロさん(コスタリカ)による「コスタリカの文化」のテーマで、政治、教育、文化、音楽などについて語りました。

参加した日本人学生からは「海外の教育事情について聞くことはあまりないので良い機会になった」「発表者2人の自国を想う気持ちが伝わってきて見習いたいと思った」などの感想がありました。



## 外国の年越しについて、留学生に聞きました!



### 中国(黄さん)

- ・家族で餃子を作り、年が明けたら食べ始めます。
- ・福建省では、乾燥したサツマイモの茎を燃やし、男性がその上を飛び越える厄払いの行事があります。

### 台湾(邱さん・朱さん)

- ・台北や台中、桃園、高雄などの大都市でコンサートが開催され、年の終わりを祝います。
- ・台北101に多くの人が集まり、カウントダウンと同時にライトアップが始まり、花火が打ち上げられます。

### フィリピン(ピアさん)

- ・多くの家庭で、メディア・ノーチェというパーティをします。1つ1つに意味がある12種類の果物を用意します。新年からの1年を示すため、新しくて明るい、カラフルな服を選んで着ます。

### キューバ(ダヤナさん)

- ・家族が集まって、豚肉、ライパナ、黒米、功という任を食べて、パーティをします。
- ・家の2、3階から、道を通る人たちにバケツで水をかけます。運が良くなるためにします。

### コスタリカ(ファンパブロさん)

- ・クリスマスは家族と過ごし、年越しは友達と一緒にパーティをします。
- ・豚のモモ肉をオーブンで焼いて食べます。
- ・スーツケースを持って町の通りを走ります。

### メキシコ(アレハンドロさん)

- ・0時のカウントダウンで鐘の音が12回鳴る度に1つずつ願いを込めてブドウを食べます。
- ・新年の旅行や体験を願って、スーツケースを持って町の通りを走ります。

### ブラジル(ダニエルさん・藤山さん)

- ・年越しに新しいパンツを履きます。黄はお金、赤は恋など、願い事によって色を決めます。
- ・ブドウかざりの種を7つ財布に入れます。1年間入れておくと、お金が貯まると言われています。

### スロベニア(ヤコブさん)

- ・牛肉、豚肉などを入れたジェリースープを新年の健康を祈って食べます。
- ・リュブリャナの町の所々でライブが開かれ、若者もお年寄りも歌ったり踊ったりして祝います。

### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3666 (研究連携室 国際交流チーム)

# 国際交流のひろば



## 台湾・国立嘉義大学附属小学校の来訪

2月8日(日)から13日(金)まで、本学と協定校である台湾の国立嘉義大学附属小学校の教員3名(張哲彰校長、頼秀珍先生、ジュディ先生)が来訪し、交流を行いました。

主な交流として、学長との懇談、本学学内見学、附属幼稚園見学、附属小学校での参観、上越市内文化研修、温泉体験などを行いました。2月12日(木)13時から講201において、嘉義大学附属小学校の紹介と英語教育、国際教育についての講演会を行い、教職員、学生等約35名の参加があり、講演会後には、先生方を囲む会を行い、意見交換が行われました。



2/12 講演会

## 平成26年度外国人留学生成果発表会



2月23日(月)9時から人113において、平成26年度外国人留学生成果発表会を行いました。

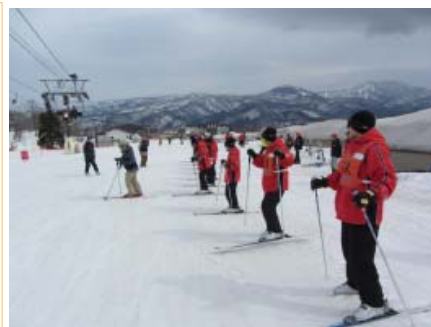
発表者は3月修了予定の激楽牡恩さん(中国、学校臨床・M1)と教員研修留学生のサルガド レヴェルス・マリオ アレハンドロさん(メキシコ・学校臨床) マチャド・ダニエル ドス サントスさん(ブラジル、国語)、リー・ピア ベンガンさん(フィリピン、音楽)、チャベス・カストロ フアン パブロさん(コスタリカ、音楽)、新潟県費留学生の藤山広美エリカさん(ブラジル、国語)です。それぞれの日本での留学生活と本学での研究の成果について発表しました。

## 平成26年度留学生スキーのつどい

2月26日(木)から27日(金)の一泊二日、赤倉観光リゾートスキー場にて、平成26年度留学生スキーのつどいを実施しました。スキー発祥の地である上越の地域性を生かし、留学生がスキーを体験するとともに、スキー実習を通して留学生相互及び教職員・学生との親睦を図ることを目的として実施しています。参加した邱子庭さんから感想文を寄せてもらいました。

### 特別聴講学生 国語コース 邱子庭(台湾)

初めてのスキーはとても楽しみでした。スキーを履くことから習いました。先生の言う通りに足の力を使ってスキーの方向を変更したり、斜面にも挑戦しました。翌日はすぐに斜面に挑戦し、最初は怖かったですが、先生とゆっくり滑りました。何度も転んで、諦めずに何度も立ち上がり、ゴールに着きました。とても嬉しかったです。クワットリフトに乗って、上に行きました。雪がふわふわで、素晴らしい雪でした。スピードを感じながらスキーの面白さを満喫しました。疾風の感じはこんな事かと思いました。素晴らしい体験でした。ぜひまた行きたいです。



さあ、がんばろう!

### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3666(研究連携室 国際交流チーム)



# 国際交流のひろば



## 短期留学生の附属小学校授業参観



3月4日(水) 本学附属小学校において、短期外国人留学生8名が授業参観をしました。これは海外の協定校からの短期留学生及び日本語・日本文化研修留学生に母国の教育制度と比較し、日本の教育事情を理解してもらうことを目的として実施しているものです。宋詩雪さん(中国)は「今回の参観は非常に貴重な体験になりました。日中の小学校には共通点と多くの違う点がありました。教室、施設、教師の教え方、授業方法など、いろいろなことが勉強になりました。」と感想を話していました。

## 平成26年度上越教育大学国際交流のつどい

3月9日(月) 16時30分から本学第一食堂において開催し、上越市、上越国際交流協会、近郊のロータリークラブ、上越青年会議所、本学振興協力会など、日ごろ交流のある地域団体の方々と本学関係者から約80人の参加がありました。この会は、本学留学生にご支援をいただいている地域の方々と本学教職員及び留学生等が意見交換を行い、本学の国際交流推進に役立てるとともに相互の親睦を深めることが目的です。

留学生と関わりを持つ多くの方からご意見をいただき、それぞれが交流を深める機会となりました。



## 外国人留学生修了証書授与式

3月17日(火) 13時から大会議室にて執り行い、教員研修留学生4名と新潟県費留学生1名に学長から修了証書が授与されました。5名の留学生は無事に留学を終えたことに安心した様子で、「修了は嬉しいですが、寂しい。帰国したいけど、したくないという気持ちです。上越の皆さんに親切にいただき、感謝しています。」と感想を話し、それぞれ3月中に帰国されました。

## 学長と修了生及び在籍留学生との懇談会

3月17日(火) 15時から大会議室において実施し、林副学長、留学生指導教員、留学生支援専門部会員、留学生等37名が出席しました。

修了生の激楽杜恩さん(中国)は「とても楽しい充実した2年間を過ごしました。これからどこに行っても、上教大で頑張った姿でこれからも前向きに頑張っていきます。ありがとうございました。」とお礼の言葉を述べていました。



### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3666 (研究連携室 国際交流チーム)